

# 大阪市立 東住吉中学校



所在地 〒546-0041 東住吉区桑津5-17-25

電話 06-6719-4488

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>

校長名 横田 勝一郎



標準服 有



## 学校概要

### 学校概要

本校は、昭和22年3月に東住吉第4中学校として開校し、昭和24年に大阪市立東住吉中学校と改称しました。校訓を「明朗典雅(あきらかにいさぎよく 正しく上品に)」「自律協同(自ら律する ところを合わせる)」とし、次のことを重点目標として教育活動を推進しています。

- 1 生徒の自主性・自律性を高めるため、組織的な支援や指導の体制を充実する。
- 2 基礎基本の定着とさらなる学力の向上を図る。
- 3 体験的な教育活動を通して、豊かな感性と社会性を身につけさせる。
- 4 校内組織の活性化を図り、小中連携の推進を図る。

### 運営に関する計画

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】

○全市共通目標を達成し、アンケート調査で「子どもを東住吉中学校へ通わせてよかった」の肯定的な回答をする保護者の割合を向上させる。

#### 【心豊かに力強く生き抜き、未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○全市共通目標を達成し、アンケート調査で「集中して授業を受ける」「基礎的・基本的なことは理解できる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を向上させる。

○運動の機会を増やし、体力をつける。本年度の「体力・運動調査」において、体力合計点において、大阪市平均・全国平均を上回る。

### 卒業後の主な進路《平成29年度》 卒業人数197人

#### 【国公立高校】 105名 (53.3%)

大阪市立ビジネスフロンティア(6)、大阪市立工業、大阪市立咲くやこの花、大阪市立桜宮、大阪市立住吉商業、大阪市立生野工業、大阪市立西(3)、大阪市立扇町総合、大阪市立第二工業、大阪市立都島工業、大阪市立南、大阪府教育センター附属(4)、大阪府立阿倍野(10)、大阪府立花園、大阪府立港(3)、大阪府立高津(3)、大阪府立今宮工科(3)、大阪府立南(3)、大阪府立市岡、大阪府立住吉(5)、大阪府立勝山、大阪府立松原、大阪府立清水谷(7)、大阪府立生野(4)、大阪府立大手前、大阪府立天王寺(5)、大阪府立東住吉(8)、大阪府立東住吉支援、大阪府立東住吉総合(8)、大阪府立藤井寺(3)、大阪府立農芸、大阪府立八尾(3)、大阪府立布施工科、大阪府立北野、大阪府立夕陽丘、堺市立堺

#### 【私立高校校】 92名 (46.7%)

KTC中央高等学院(梅田)、あべの翔学、石見智翠館、大阪スクールオブミュージック専修、京都共栄、クラーク記念国際、クラーク記念国際(梅田)、尽誠学園、パール学院、三重、レコールパンタン高等部、羽衣学園、開智、関西情報工学院専門学校、関西創価、関西大学第一、関西大学北陽、京都成章、興国(5)、近畿大学附属(4)、好文学園女子、阪南大学(9)、初芝立命館、昇陽、上宮(10)、城星学園、清風、清明学院、宣真、大阪学芸(6)、大阪産業大学附属(3)、大阪成蹊女子、大阪電気通信大学(3)、大阪夕陽丘学園(7)、大阪信愛学園、中央学園高等専修学校、追手門学院、追手門学院大手前、天理 第一部、桃山学院、奈良女子、明浄学院、藍野学院短期大学附属藍野、浪速、和歌山信愛

※掲載は50音順

※進学者数が3名以上の場合( )内に人数を表示しています。

### 体力・運動調査結果

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
男子		27.15	28.93	41.09	55.53	340.00	80.87	8.27	185.82	21.62	41.74
女子		23.98	24.85	43.92	49.52	-	71.92	8.75	175.75	13.05	51.46

男子は体力合計点で大阪市を上回ることができたが、全国は下回っていた。昨年度課題であった上体起こしでは大阪市、全国を上回ることができたが、シャトルランは変わらず低く、課題である。今後、さらに、筋力や持久力を高めるトレーニング等を取り入れ、向上していく。

女子に関しては、体力合計点で大阪市、全国を上回る結果となった。特に、反復横とび、シャトルラン、立ち幅とびの3つが大阪市、全国よりも大きく上回る結果となった。ハンドボール投げや長座体前屈など大阪市、全国よりも低い

### 生徒数・学級数

平成30年5月1日現在

	1年	2年	3年	計
生徒数	169	194	173	536
学級数	5	5	5	15
特別支援学級				3

### 学力調査結果

	国語A	国語B	数学A	数学B
平均正答率(%)	80	74	69	52

平均正答率について、全国や大阪市と比べると、各教科の結果は、以上のとおりである。

国語Aは、全国平均より2.6P高く、大阪市平均より6P高い。国語Bは、全国平均より1.8P高く、大阪市平均より6P高い。数学Aは、全国平均より4.4P高く、大阪市平均より7P高い。数学Bは、全国平均より1.9P高く、大阪市平均より7P高い。無解答率に関しては、どの教科も全国平均より1P~3.1P低く、本調査に対して意欲的に取り組んでいたといえる。

授業等での放送テストや朝の読書など、さまざまな文章に触れる機会を設定している。また、ことばに関する自主教材を活用するなどして、語彙力の向上を図っている。さらに、資料やテーマについて自ら考え、それを意見として発表できる経験をより一層増やしていきたい。

基礎的・基本的な学習内容の定着に重きを置いた、系統立てた授業を進め、自作プリントなどを有効に用いて基礎学力の充実を図っていく。発展的な内容や数学的な活動を取り入れた授業を増やし、生徒の理解度に応じて生徒の興味・関心を高め、理解力の向上に努めていきたい。

※全国・大阪市の平均についてはP38参照

部分を中心に全体的に伸ばしていきたい。

授業のトレーニングの一貫として、繰り返し基礎的・基本的運動能力の底上げが必要である。昨年度行った、ストレッチを準備運動の中に積極的に含め、体が固まってしまうように、日々の授業で補っていきたい。また、今後も足りていない体力要素を高めるトレーニングを増やしていきたい。さらに、保健の授業で、スポーツや体の特性などを学び、生徒自らが進んで体を動かしていく怪我のない環境を整えていきたい。

※全国・大阪市の平均についてはP38参照

## 部活動紹介

- 【平成30年度の部活動】
- 運動部 バレーボール部(男子・女子)・バスケットボール部(男子・女子)・軟式野球部(男子)・ラグビー部・卓球部(男子)・ソフトテニス部(女子)・バドミントン部(女子)・陸上同好会
  - 文化部 音楽部・文芸部・美術部・英語部(ESS)・パソコン部

## 教育目標

- 1 個性を伸ばし、自らすすんで学習する生徒を育てる。
- 2 健全な社会性、お互いの立場を理解し、協力しあう集団づくりに努める。
- 3 豊かな人間性、授業を大切に、共に高めあう学習活動の推進を図る。

## 学校行事(年度によっては実施月を変更する場合があります)

- 4月 入学式・始業式・家庭訪問
- 5月 中間テスト・1年一泊移住
- 6月 2年保育福祉体験 3年修学旅行
- 7月 期末テスト・学期末懇談・田辺模擬原爆追悼式へ参加
- 8月 平和登校日・始業式
- 9月 体育大会
- 10月 中間テスト・合唱コンクール・文化の集い
- 11月 芸術鑑賞会・オープンスクール
- 12月 期末テスト・学期末懇談
- 1月 始業式・百人一首大会
- 2月 学年末テスト・進路講演会・子ども協議会
- 3月 卒業式・修了式



## キャリア教育

- 1年
  - ・仕事調べ(身近な人から仕事について聞き取り、発表等を行う)
  - ・進路講演会(2年生で行う保育福祉学習に関係する施設の方からの講話を聴き、将来展望を持たせている)
- 2年
  - ・保育福祉体験学習(3日間での体験学習。その意義づけ、事前訪問、お礼訪問等も行う)
  - ・キャリア教育実践交流会(元気アップ地域コーディネーターの方のご協力のもと、地域の方から仕事についての講話を聴き、進路に対する意識の向上を図っている)
- 3年
  - ・進路学習(自分に適した進路選択を考える)



## 元気アップ地域本部事業

地域ボランティアの皆様のご支援とご協力を得て、次の取り組みを行っています。

- 学習支援
  - テスト前や長期休業中において学習支援ボランティアによる学習支援
- 茶道教室
  - 夏季休業中等において地域ボランティアによる茶道教室
- キャリア教育実践交流会
  - 様々な職業に就いておられる地域の方々より仕事についてお話しいただき、生徒は自分の将来への進路を考えるきっかけとなっています。



## 生徒会活動

- 全校集会の運営
  - 毎週月曜日に行う全校集会は、生徒会執行部が中心となって運営しています。
- 田辺模擬原爆追悼式への参加
  - 昭和20年7月26日、本校校区からわずかの地下鉄谷町線田辺駅近辺に、模擬原爆が投下されました。本校生徒会執行部はこの日を偲ぶ追悼式に参列し、小中連携により作成した千羽鶴を追悼の石碑にたむけています。
- 平和登校日の主催
  - ヒロシマに原爆が投下された8月6日に、体育館にて平和登校日を実施しています。実際に被爆者の方をお招きしての講話や、地域の戦跡を巡るフィールドワークの報告、世界平和に目を向ける取り組みなど、生徒会執行部が中心となり、毎年趣向を凝らしています。



- オープンスクール・子ども協議会の主催
  - 2学期に授業風景やクラブ活動の体験を含むオープンスクール、3学期には本校に入学する小学校6年生に対して、生徒会執行部が学校生活の様子を報告する子ども協議会を主催し、中学校生活への不安を取り除けるよう努めています。